

指導方法等の改善計画について [数学科]

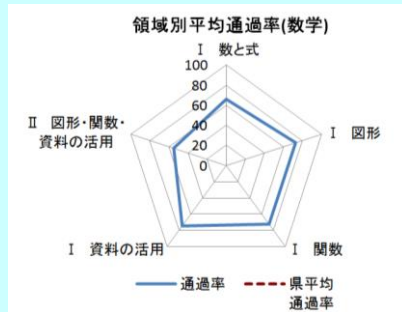
尾道市立因北中学校

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 67.0%, 県66.9%)

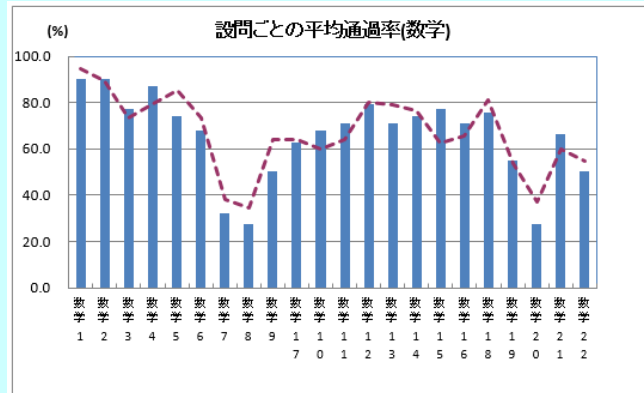
対県比

.100%

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



学力定着実態調査 本年度正答率

本校 73.95%
全国 68.3%

対全国比

108%

全国学力・学習状況調査 本年度正答率

A問題

本校 60.0%
全国 64.6%
県 64.0%

B問題

本校 46.0%
全国 48.1%
県 48.0%

本年度の結果について

○タイプⅠは 70.4%, タイプⅡは 55.3%の通過率となっている。基礎的な計算問題は定着が見られるが、数学用語や公式の内容を知ってはいるが、定義や成り立つ理由を十分理解していないので、論理的に説明ができていない。
○表やグラフから式を作る練習を繰り返した結果、全国学テではグラフから式を作る問題で対県-7.3P から-4.3P に向上した。

来年度(全国学力学習状況調査)の目標値

対全国比

100%

重点課題

基礎基本状況調査

- 【課題1】円すいは円柱の体積の1/3になることを理解していないので、円柱の体積を求めることができない。[6](1) (本校 34.2%, 県 87.5%)
- 【課題2】式や表を見て、中心角と半径が比例関係になることを数学用語を使って説明することができない。[12](2) (本校 31.6%, 県 48.4%)

全国学力・学習状況調査

- 【課題1】比例の式 $y = 4x$ で x の値3に対する y の値を求められない。(A10(1)) (本校 62.3%, 県 85.1%)
- 【課題2】二元一次方程式 $2x + y = 6$ が表すグラフが求められない。(A13) (本校 47.2%, 県 62.3%)

指導上の課題の改善方法 (現在扱っている単元において)

基礎基本状況調査

- 【課題1】「立体の体積と表面積」の単元で、グループで数学的活動をして解決させていく。「平行と合同」の単元で、公式にあてはめて角度の計算をする問題を、グループで説明し伝え合うことで解決させていく。(目標 90%) (達成率 %)
- 【課題2】「立体の体積と表面積」の単元で、中心角と半径の関係について説明し伝え合わせて発表させる。「三角形と四角形」の単元で、図を見て、同位角や錯角や合同条件を使って証明を考えて発表させていく。(目標 40%) (達成率 %)

全国学力・学習状況調査

- 【課題1】「比例と反比例」「1次関数」「関数」の単元で、対応表を書く練習を繰り返す。(目標値 85%) (達成率 %)
- 【課題2】「1次関数」「関数」の単元で、二元一次方程式のグラフを繰り返し書く。(目標値 65%) (達成率 %)

「基礎・基本」定着状況調査	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				1・2年中間試験		1・2年期末テスト	2年基礎基本再テスト		1・2年学年末試験
目標値				[6](1)が60% [12](2)が33%		[6](1)が80% [12](2)が35%	タイプⅠ75% タイプⅡ60%		[6](1)が90% [12](2)が40%
取組の重点		いろいろな数量を文字式を使って等式に表現する学習		2つの事象の関係を式で表現し、片方の事象の値から他方の値を求め、何を意味しているかを考察する学習		検証結果から、さらに改善方法を考えリスタートする。			
全国学力・学習状況調査	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				2・3年中間試験		1年期末テスト			1・2年学年末試験
目標値				A10(1)が85% A13が65%		A10(1)が85%			A10(1)が90% A13が70%
取組の重点				繰り返し練習して全員が定着していく学習をする。		検証結果から、全員ができるようになる学習を考えていく。			